

少し前までうだるような暑さが続いていたように感じますが、朝夕は少し肌寒さを感じるようになりました。田んぼの稲刈りも進み、はでかけがしてある場所も見られます。秋の深まりを感じます。学校では学習発表会に向け練習している心地よい音が毎日響いています。

1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」に

皆さんは「ギガスクール構想」ってご存じでしょうか。

ギガスクール構想とは、義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画です。計画としては以前から進められており、羽合小学校には大型電子黒板が3年生以上の各教室に設置してあります。算数、国語や社会のデジタル教科書も活用できます。タブレットも30台ほどあり授業に活用したり、1学期の途中から専門的な知識や技能を有するICT支援員の配置があり、私たちの業務を助けてもらったりしているのもこの事業によるものです。

さて今年は、新型コロナウイルスの感染拡大による3月の全国一斉の臨時休業に始まり、その後の緊急事態宣言を受け鳥取県では再度学校が臨時休業となる、これまで経験したことのない状況になりました。これまでは子どもが目の前にいることが前提でしたが、教室に子どもがいない中で、私たち教師は、どのようにして心身の健康状態を把握し学習の保障をしていくのか、また起こるかもしれない緊急事態に備えどうすればよいのかを突きつけられることになりました。「テレワーク」、「リモート会議」、「オンライン学習」など新しい言葉が行き交うコロナ禍の中、社会全体やとりわけ学校のICT環境の脆弱さを再確認することになりました。文部科学省もこの状況に危機感を強め、補正予算によってこの構想の前倒しを進めているところです。

羽合小学校にも3月1日までに、1年生から6年生まで全ての子どもたちが1人1台のタブレットを持つことになります。様々な学習で1年生からタブレットを操作しながら学習をしていく時代がすぐそこまで来ているのです。



2学期の人権教育参観日について

今年度は、参観日の予定が大きく変更となりご迷惑をおかけしています。年間行事予定では9月15日には「命の教育」参観日を予定していましたが、運動会が9月13日に延期となり実施できませんでした。10月は学習発表会があるので参観日の予定はありません。11月は人権教育参観日を予定していましたが、これまでのように参観日が実施できない状況が続いています。11月に学習参観日を実施しないと、2学期の間教室で学習している様子を見てもらう機会がなくなってしまいます。

そこで1学期行った2日間に分ける方式で参観日を11月下旬に実施したいと思っています。同じ内容の人権学習を何回も行うことはできないので、普段通りの学習参観とします。人権学習については、校内で人権学習週間を設定し各学年で学習を行い、学年便り、学級便り等でお知らせしようと考えています。